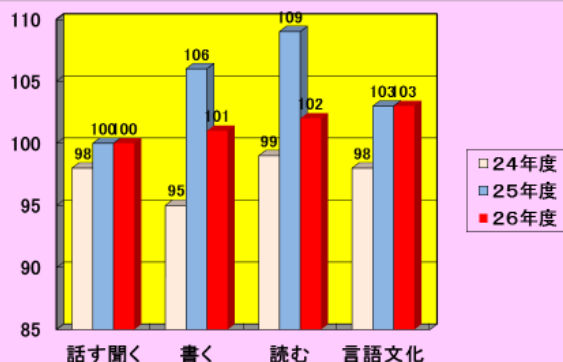


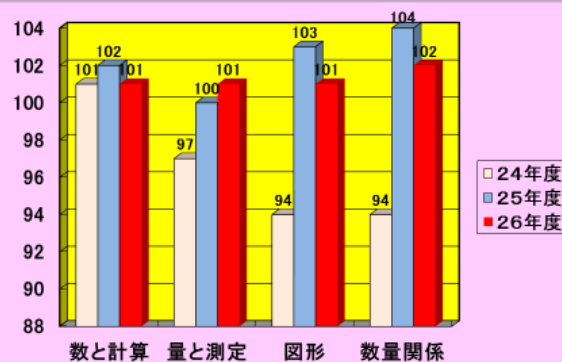
『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー その3

今月は、「チーム南小のチャレンジ」として実践している学力向上の取組を紹介いたします。

**国語 標準学力検査CRT 3年間の結果より
(全国を100としたときのポイントの流れ)**



**算数 標準学力検査CRT 3年間の結果より
(全国を100としたときのポイントの流れ)**



平成26年度までの標準学力検査から、基礎・基本の定着が向上してきたことが分かります。さらに身に付けてきている学力水準の維持、向上が求められます。そこで、平成27年度の学力向上の取組として、教師の指導力向上にも取り組んでいます。

指導力の向上

- 教えて考えさせる授業づくり
(国語と算数を7月3日に公開します)
- ノート指導 板書 発問 話し方 聞き方 机上指導 学習過程 学習常規等を教師も優れた実践に学びながら、教師スタンダード7・学習スタンダード7(右図)を徹底
- 全ての子どもが活躍する指導体制や場面の工夫
※TT、少人数指導、習熟度別学習の積極的な活用を図る先生同士の連携
- 学年毎の学力向上プラン作成
※目標値を設定し、その達成のために、学習内容の精選と学習活動の工夫

また、指導について児童の意識を知るために、国語と算数について、全校児童にアンケートを実施しました。

児童アンケート(5月実施)の結果より

- 国語の授業がわかりやすい…93%(1年生を除くと90%)
ただし、漢字の読み書き、ノートに書くこと、文章を読むことに苦手意識を持っているようです。
 - 算数の授業がわかりやすい…93%(1年生を除くと92%)
ただし、数を数える、計算する、文章題を解くことに苦手意識を持っているようです。
- 学校力向上の一環として、学力向上、教師力向上と取り組んでいます。児童アンケートを踏まえ、以下の点に十分留意して、今後も教育活動を進めてまいります。

27年度教師スタンダード7

《学習部より》

- ①子どもの名前は「さん」「くん」をつけて呼ぶ。
- ②チャイムと同時に開始し、終了する。
- ③子どもに考えさせ、表現させる場を設ける。
- ④全員が聞く姿勢になってから話し始める。
- ⑤丁寧に振り返りやすい板書に心がける。
- ⑥丁寧にわかりやすい話し方に心がける。
- ⑦全ての子どもに出番があるよう配慮する。

27年度学習スタンダード7

《学習部より》

- ①決められた物だけ机におきます。
- ②チャイムが鳴る前に勉強道具を出します。
- ③名前を呼ばれたら
「はい」と返事をします。
- ④話し手の方に体を向けて聞きます。
- ⑤発表や音読は
みんなに聞こえる声でします。
- ⑥「です」「ます」をつけて答えます。
- ⑦ノートはていねいな字で書きます。

- 子どもに基礎・基本を確実に習得させ、自信を持って学習に取り組む態度を身に付けさせる。
- 話し合いの中で互いの考えを認め合う場面を増やし、自己肯定感を高める。